



2016年度 第2四半期決算説明会

決算総括及び2017.3月通期見通し

2016年11月29日

シンフォニアテクノロジー株式会社
(証券コード6507)

説明のポイント

- 2016年度上期実績
前年同期比増収増益、当初予想を上回った
- 2016年度業績見通し
不透明な状況下にあるため、当初予想を据え置く
- 中期計画の進捗
中核事業拡大
グローバル事業拡大
新分野への挑戦

シンフォニアテクノロジー会社概要

概要

- ▶ **創業** : 1917年5月（大正6年）
- ▶ **設立** : 1949年8月（昭和24年）
- ▶ **資本金** : 101億5,696万円
（2016年3月末現在）
- ▶ **従業員** : 連結 3,563人
単独 1,956人
（2016年3月末現在）

拠点

- ▶ **国内** : 単独22拠点
3工場含
- ▶ **海外** : グループ15拠点
 - 東アジア 9拠点
 - 東南アジア 5拠点
 - 北米 1拠点

創業100年

- ▶ 次の100年に向けて架け橋となる中期計画『BRIDGE100』
- ▶ 発祥の地を中心にネーミングライツ等地域貢献

(ご参考)事業区分

モーション機器

- 航空宇宙システム
- モーションコントロール機器
クラッチ・ブレーキ
(大崎電業社+シンフォニアマイクロテック)
- モーションシステム
- プリントシステム
- 大型搬送システム
- 昕芙旋雅商貿 (上海)



パワーエレクトロニクス機器

- クリーン搬送機器
- 振動機器
振動機・パーツフィーダ
- 自動車試験装置
- 社会インフラシステム
- 産業インフラシステム
- シンフォニアテクノロジー (タイ)
- 昕芙旋雅商貿 (上海)



サポート&エンジニアリング

- 連結子会社
- シンフォニアエンジニアリング
- S&Sエンジニアリング
- その他サービス会社 3社





■ 2016年度上期決算概要 ■

受注実績(セグメント別)

単位:億円

		15年度 上期実績	16年度 上期実績	対前年比	
				増減額	増減率
モーション機器	受注高	147.6	203.2	55.6	37.7%
	受注残高	171.3	235.9	64.6	37.7%
パワーエレクトロニクス 機器	受注高	146.6	187.1	40.5	27.7%
	受注残高	157.7	200.5	42.8	27.1%
サポート& エンジニアリング	受注高	90.5	103.3	12.7	14.1%
	受注残高	81.1	80.0	1.1	1.5%
計	受注高	384.6	493.5	108.9	28.3%
	受注残高	410.0	516.4	106.3	25.9%

- グループ全体 : 16年下期以降に売上となる受注高の増加
- モーション機器 : 航空宇宙、プリンタで増加
- パワエレ機器 : クリーン搬送機器、社会インフラで増加
- サポート&エンジ : シンフォニアエンジニアリング、S&Sエンジニアリングで増加

2016年度上期連結決算

単位：億円

	15年度 上期実績	16年度 上期実績	前年同期比		(参考)5/13公表ベース	
			増減額	増減率	上期予想	増減額
受注高	384.6	493.5	108.9	28.3%	480.0	13.5
売上高	337.9	345.5	7.6	2.2%	345.0	0.4
営業利益	5.3	6.6	1.3	25.7%	4.0	2.6
経常利益	4.2	6.2	2.0	47.9%	3.0	3.1
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2.7	3.5	0.8	29.6%	2.0	1.4

- 前年同期より、増収増益
- 受注は、計画を超過したため、今後に弾みをつけることができた
- 上期予想に対しては、10月25日に上方修正発表

セグメント別業績

単位:億円

		15年度 上期実績	16年度 上期実績	対前年比	
				増減額	増減率
モーション機器	売上高	147.6	150.5	2.8	1.9%
	営業利益	2.8	0.3	3.1	-
パワーエレクトロニクス 機器	売上高	131.0	141.1	10.1	7.7%
	営業利益	2.6	7.2	4.7	180.1%
サポート& エンジニアリング	売上高	94.7	87.6	7.1	7.5%
	営業利益	0.0	0.2	0.2	-
消 去	売上高	35.4	33.6	1.8	-
	営業利益	0.0	0.0	0.0	-
計	売上高	337.9	345.5	7.6	2.2%
	営業利益	5.3	6.6	1.3	25.7%

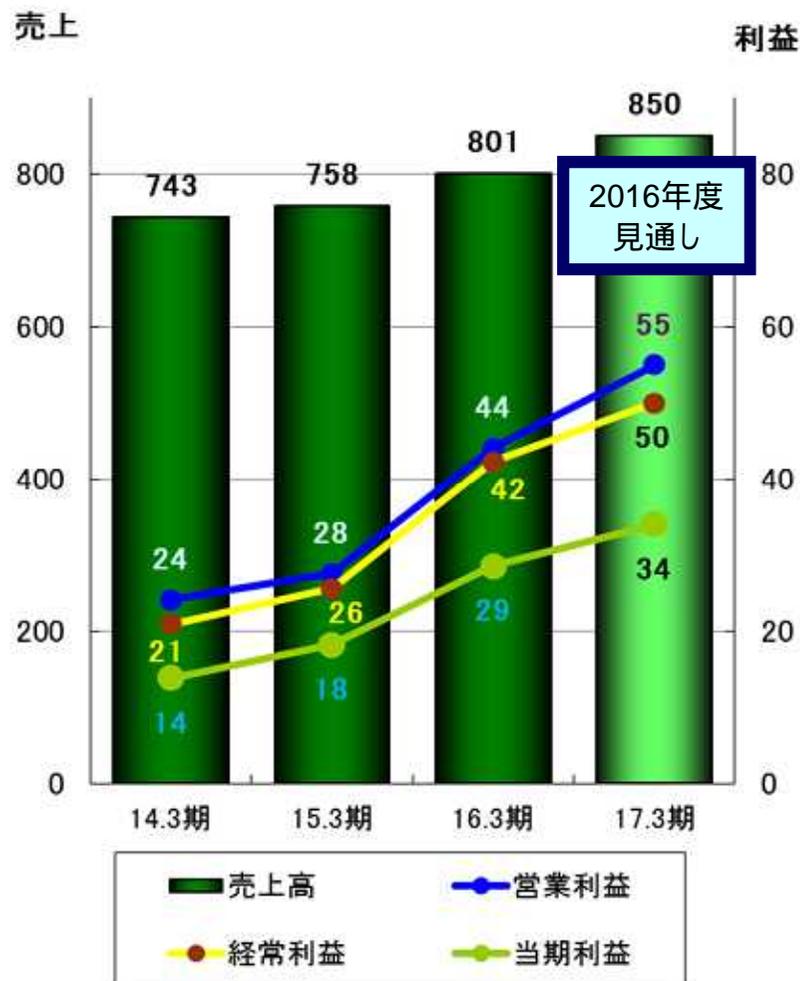
- モーション機器 : クラッチ・ブレーキ、モーションシステムは、中国影響による減収・減益も大型搬送で前期の更新需要売上、シンフォニアテクノロジー上海新規連結で増収
- パワエレ機器 : クリーン搬送機器は客先設備投資増・試験装置は前期の大型受注により増収・増益
- サポート&エンジ : 半導体設備工事増も、太陽光パネル設置工事の一巡による減収・減益



■ 2016年度業績見通し ■

2016年度連結業績見通し

単位：億円



単位：億円

	15年度実績	16年度見通し	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	800.9	970.0	169.1	21.1%
売上高	800.8	850.0	49.2	6.1%
営業利益	44.1	55.0	10.9	24.7%
経常利益	42.3	50.0	7.7	18.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	28.5	34.0	5.5	19.3%

- 5/13公表値からの変更はなし
- 2016年度見通しは、前年度と比べて増収増益
 - クリーン搬送機器、大型搬送、プリンタの売上高増
 - 売上高増に伴い、増益
 - 受注は参考情報950億円から20億増の970億円とし、中期計画達成に弾みをつける

セグメント別見通し

単位:億円

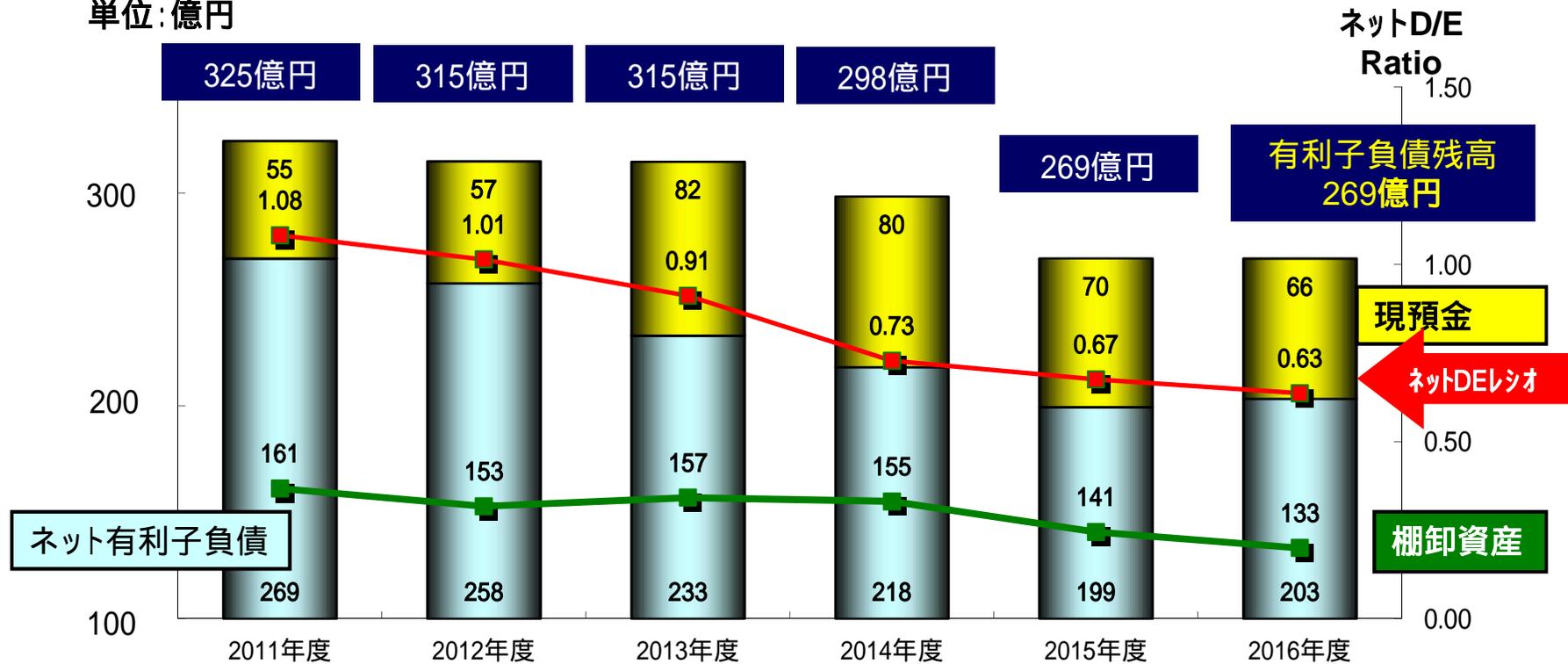
		15年度 実績	16年度 見通し	対前年比	
				増減額	増減率
モーシヨン機器	売上高	311.2	350.0	38.8	12.5%
	営業利益	6.5	12.0	5.5	85.5%
パワーエレクトロニクス 機器	売上高	338.8	355.0	16.2	4.8%
	営業利益	25.9	32.0	6.1	23.6%
サポート& エンジニアリング	売上高	227.8	225.0	2.8	1.2%
	営業利益	12.1	11.0	1.1	8.9%
消去	売上高	77.0	80.0	3.0	-
	営業利益	0.4	0.0	0.4	-
計	売上高	800.8	850.0	49.2	6.1%
	営業利益	44.1	55.0	10.9	24.7%

- モーシヨン機器 : 航空宇宙、大型搬送、プリンタで、増収増益
- パワエレ機器 : 社会システム、クリーン搬送機器で、増収増益
- サポート&エンジ : 太陽光発電パネル設置工事の一巡による減収減益

有利子負債の推移

2017年3月末有利子負債残高は269億円（16年3月期と同水準）
 ネットDEレシオは0.63倍（0.04ポイント低減）

単位：億円





■ 中期計画の進捗 ■

中期計画概要

BRIDGE100のビジョン

“Motion & Energy Control” 技術で
グローバルに成長

BRIDGE100の基本方針

- 中核事業拡大
- グローバル事業拡大
- 新分野への挑戦
- グループ経営基盤整備

BRIDGE100の17年度収益目標

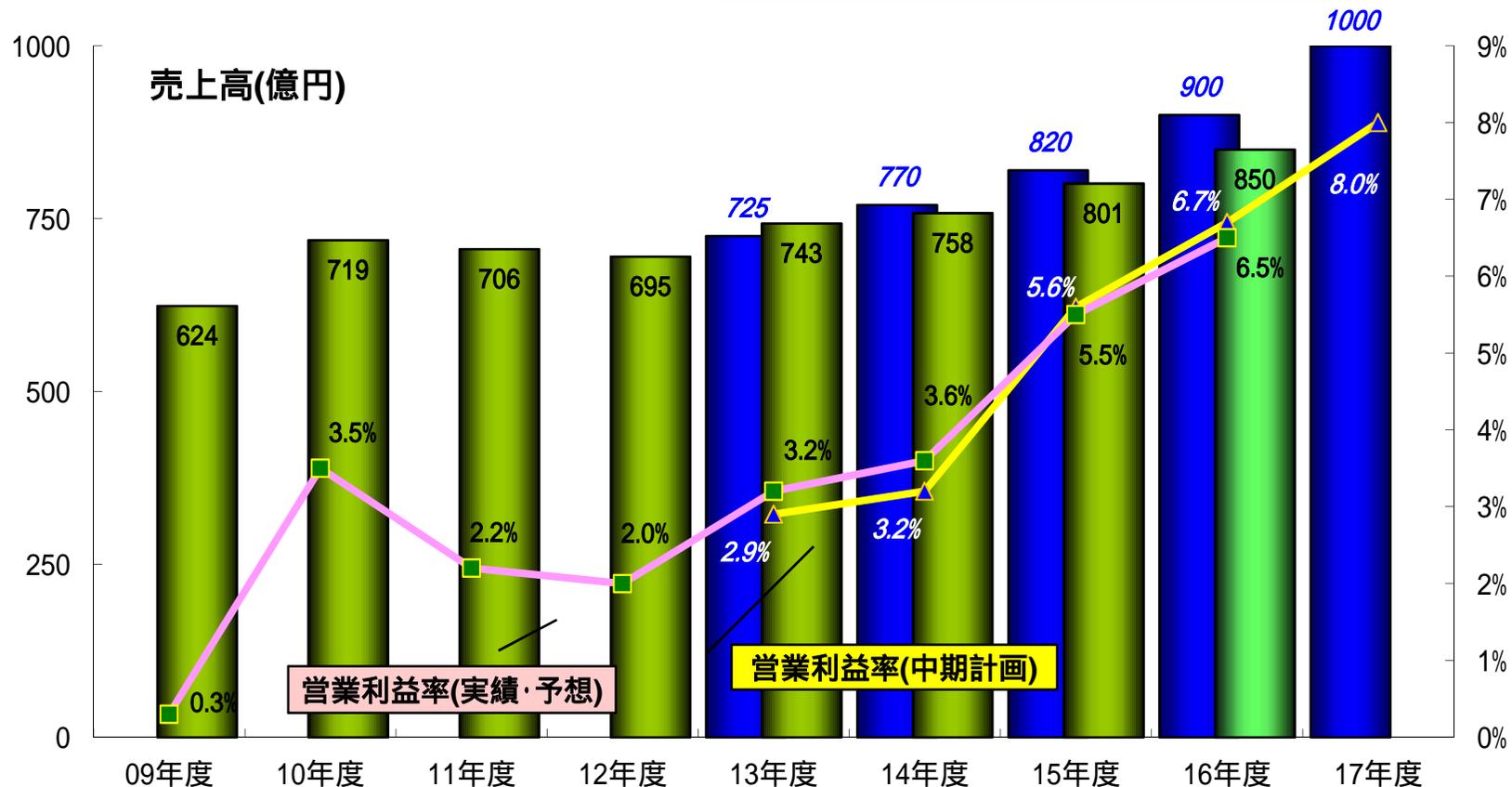
- 売上高 : 1000億 (17年度)
- 営業利益 : 80億 (8%)
- 経常利益 : 70億 (7%)
- 当期純利益 : 50億
- ROA : 8%



中期計画推移

BRIDGE 100

単位：%



- 15年度まではほぼ計画通りの進捗で、16年度は中国影響などにより計画よりも低い予想
- 国内・既存事業は堅調も、海外・中核事業の一部に遅れがあり、挽回対策中
- 受注高は計画を上回っており、計画達成に向けてはずみがつけられている

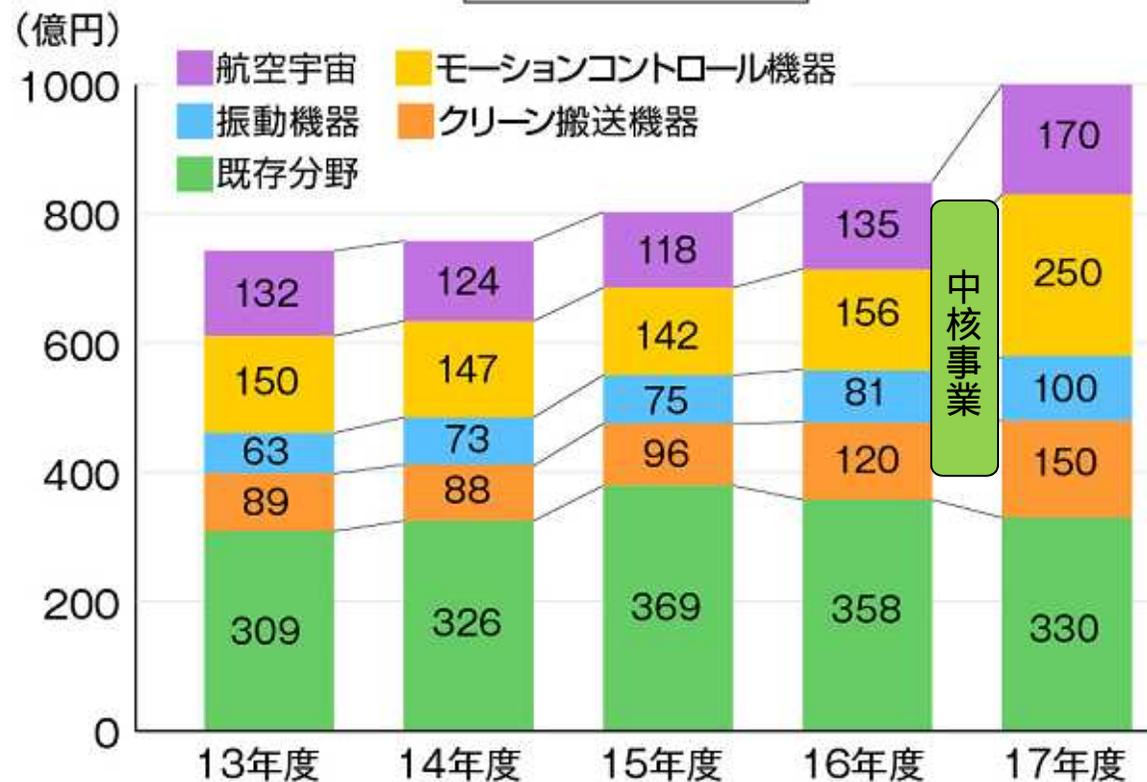
中核事業の拡大

中核事業

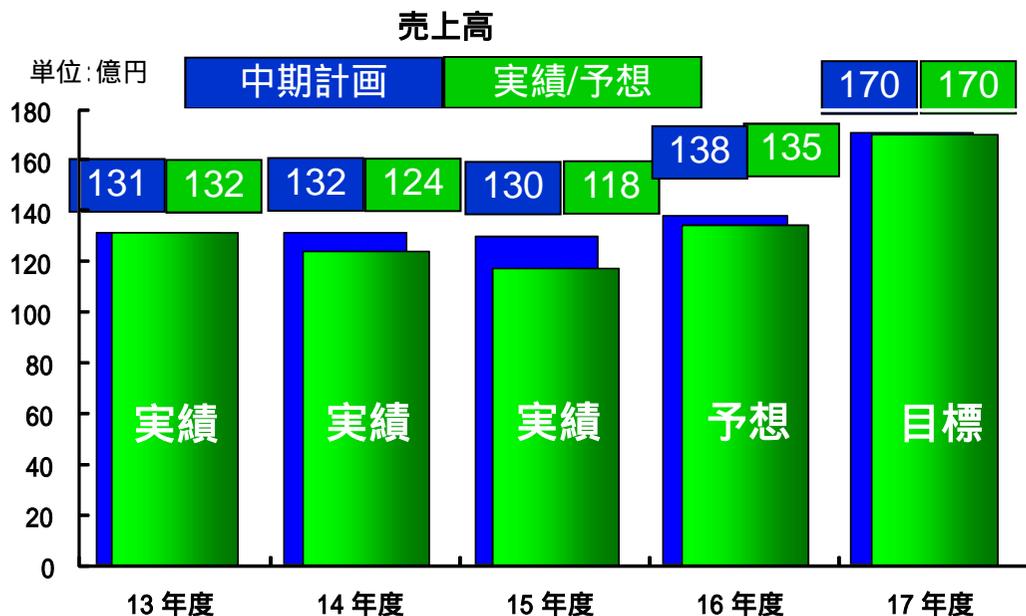
- 航空宇宙事業
- モーションコントロール機器事業
- クリーン搬送機器事業
- 振動機器事業

- 一部の中核事業で進捗に遅れはあるものの、17年度目標数値に変更なし
- 既存事業は計画以上の進捗

売上高推移



中核事業の拡大 航空宇宙事業

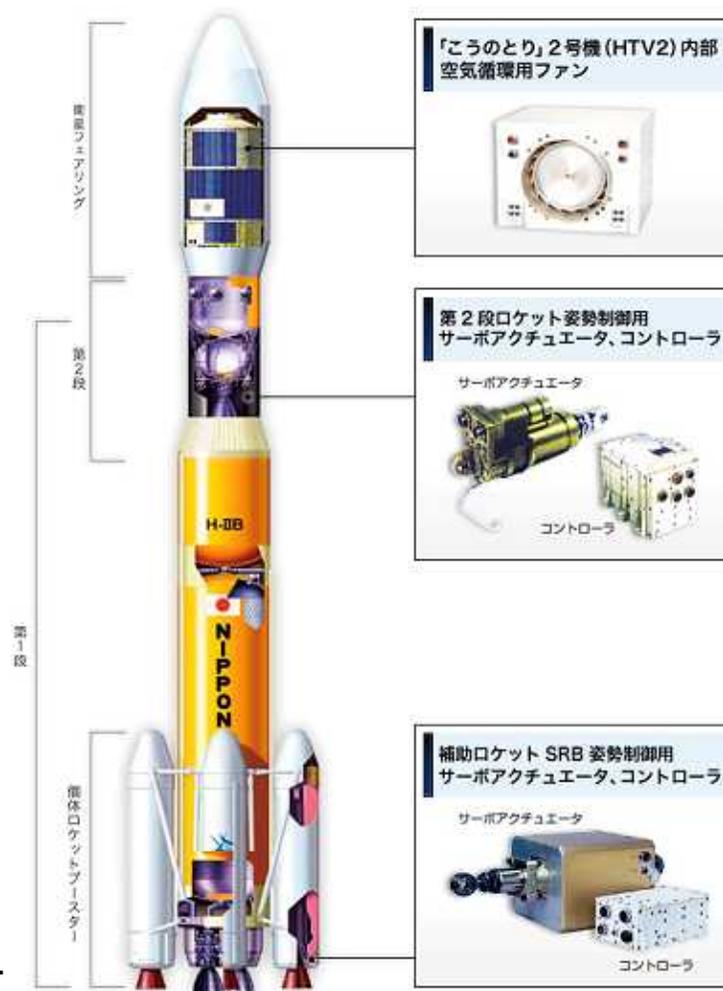


進捗

航空宇宙の大型案件が売上に寄与、
地上支援車両の更新需要確保で、
ほぼ計画通り

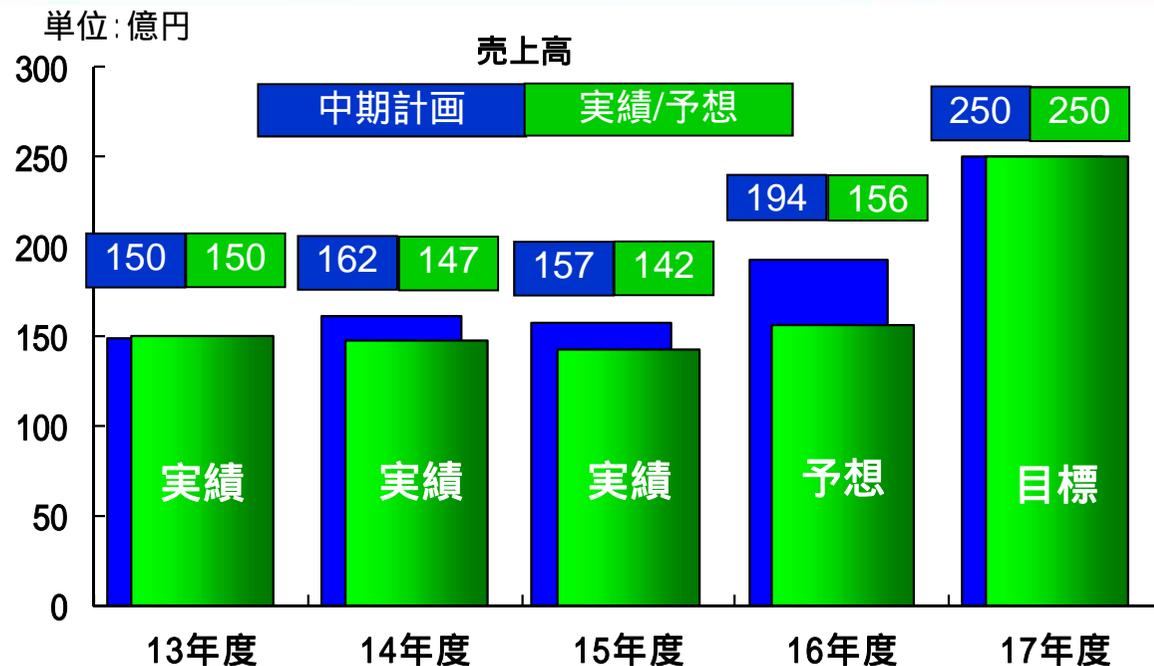
方針

艦船・車両・装備品などの開発強化
防衛省向け航空機・宇宙事業の製品領域拡大
民間航空機向け電装品の拡大開発



(参考)「このとりの2号機/H-2Bロケット2号機

中核事業の拡大 モーションコントロール機器事業



パウダクラッチ/ ブレーキ



ダイレクト・ドライブモーター



速度発電機

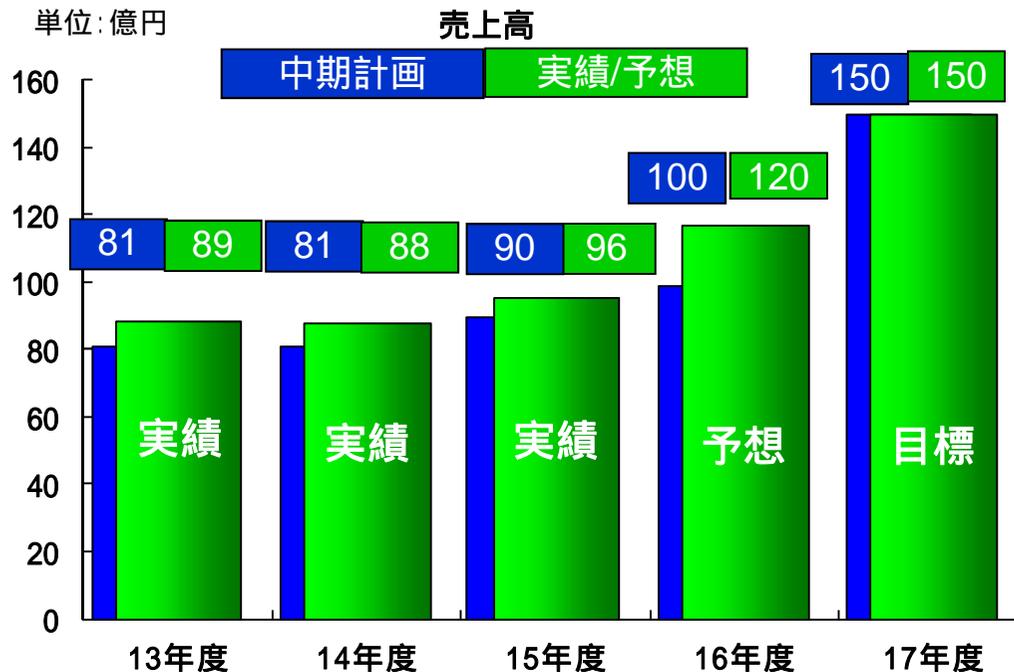
進捗

中国影響を受け、計画に届いていない
好調業界に向けたDDモーター等のラインナップ
拡充を行い、売上拡大対策中

方針

ロボット・医療機器等への用途開拓による顧客増
自動車・鉄道等量産案件の着実な開発による量の確保
上位・周辺機器メーカーとのタイアップによる領域拡大

中核事業の拡大 クリーン搬送機器事業



N₂ポート



搬送ロボット



EFEM

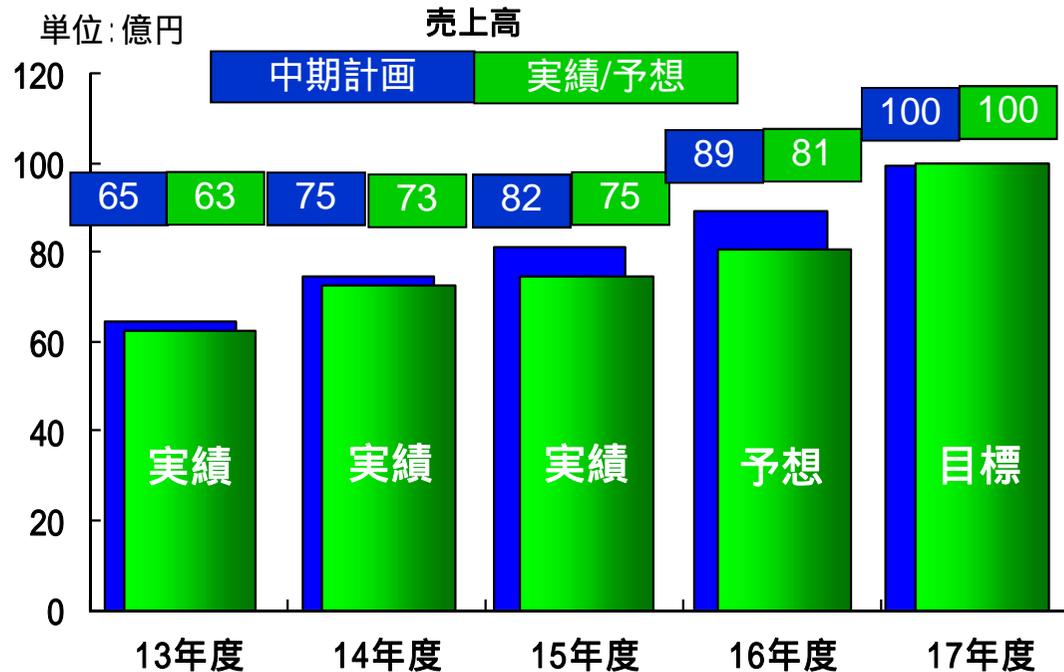
進捗

半導体製造メーカーの設備投資が好調でN₂ポート等、顧客ニーズを先取りした開発・提案が出来ており、計画以上の進捗

方針

EFEMなど高付加価値商品や、真空搬送方式の開発を着実に進めることで、新規顧客を獲得し、売上拡大
新たな分野（医療）へも進出し、事業拡大を図る

中核事業の拡大 振動機器事業



振動乾燥・冷却装置



食品搬送



画像処理システム付
パーツフィーダ

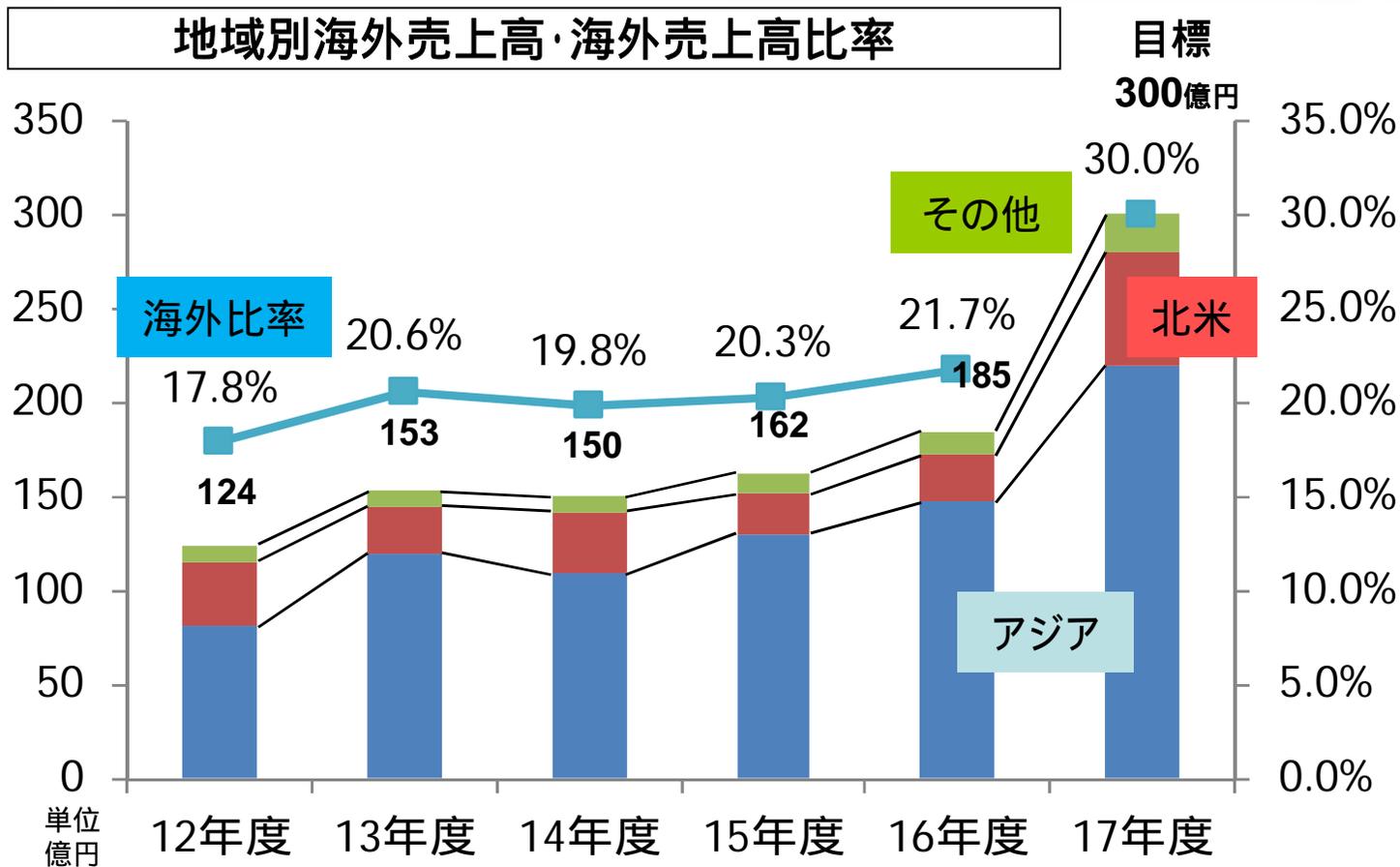
進捗

海外の大型案件先送りにより、計画未達も
合成ゴム・ガラス繊維などの自動車業界
砂糖などの食品業界の投資意欲は継続

方針

IoTを使った異常診断、洗浄対応、画像処理機能等
高付加価値機能開発による差別化を進める
前後装置メーカーとのアライアンスを含め、
海外モデルの現地一貫製販体制を整備し、売上拡大

グローバル事業の拡大



- 市場成長率の鈍化影響により、海外売上高は増収傾向も伸び率は低い状態
- 海外モデルの開発、コストダウンの推進、海外パートナーとの販売提携による拡販を進める
- 国内からのバックアップ体制を強化し、目標を変えずにトライ

グローバル事業拡大

中国市場

進捗

市場停滞影響により販売目標未達
好調市場の販路開拓継続

方針

半導体関連市場等更なる販路開拓
現地企業への販売を強化するため
現地工場の活用を進める

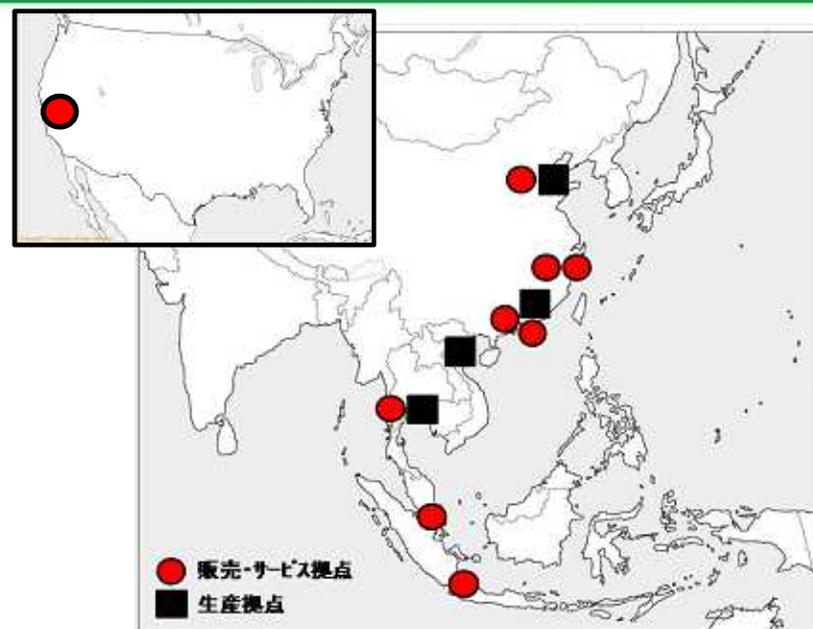
東南アジア市場

進捗

投資先送りが続き販売目標未達
国内からの製造委託で生産量は増加
パーツフィーダーは現地一貫生産で売上拡大

方針

海外モデルコンバの開発・現地一貫生産体制
の確立を進めると共に、エンジニアリング会社
とのアライアンスなど販売体制を強化



北米市場

進捗

北米半導体製造メーカー向け好調
自動車向けクラッチも堅調
プリンタは減少

方針

国内からの輸出増加に向け
北米拠点の拡充を進める

新分野への挑戦

- モーション&エナジー
コントロール技術を中心とした
開発テーマ推進
- 受注拡大に向け、継続的な
新製品開発への取り組み

搬送フィーダー



画像処理機能付パワーツィーダー



超高速ダイナモ

ワンショットクラッチ



インホールモーター



多自由度球面アクチュエーター



N₂ポート

医療・福祉分野
農業・水産業分野

新分野への挑戦

医療・福祉分野

▶ 細胞培養搬送装置・不要細胞除去装置の開発

- 外部機関による性能評価 規格対応開発
- 展示会に出展し、販売パートナー連携
- バイオメディカル事業室の立上
幹細胞用途などへの展開活動を開始



不要細胞除去装置



▶ 抗癌剤調製装置の拡販

- 学会での発表など、市場認知が進む
- 多数の問い合わせを頂き、販売本格化



抗癌剤調製装置

新分野への挑戦

■ 農業・水産業分野

▶ 全天候型栽培システム

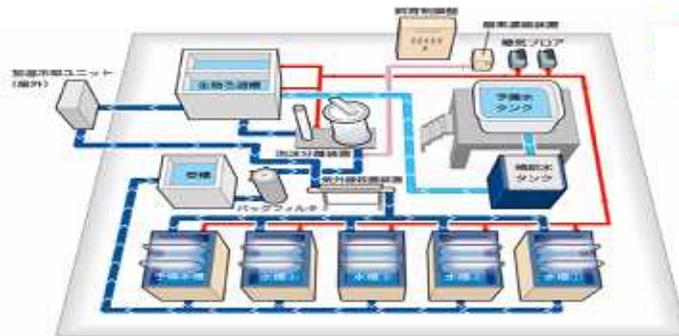
- いちご栽培テストプラントを納入
- リリース後、多数の購入意向を頂く
- 差別化のための、更なる研究開発を継続

▶ 閉鎖循環式陸上養殖システム

- 水産業に環境変化が起こっている
- アワビ の陸上養殖システムの開発を開始



完全人工光型植物工場



閉鎖循環式陸上養殖実証設備



コンテナ式陸上養殖実証設備

将来予測について

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。